

専念寺通信

6月号 (NO. 154) <http://sennenji.s296.xrea.com/>

梅雨入り宣言がされたとたん晴れの日が続きはじまりました。長雨もつらいものですが、降るはずの季節に雨が降らないと農作物などへの影響も心配です。春、夏、秋、冬、のならば伸びたり縮んだりしている昨今、皆さまおかわりなくお過ごしでしょうか。

☆施餓鬼会法要ご報告

5月26日に施餓鬼会法要がとりおこなわれました。さいわい、お天気に恵まれ、受付開始前から続々と檀家さまがおいでになりました。出席総数202名、今までで一番大勢の檀家さまをお迎えして、定刻11時に大玄関内の喚鐘が打ち鳴らされ、浄土宗東京教区城西組牛込部のご住職7人と専念寺住職ならびに副住職の読経がはじまりました。今年は、本堂内に椅子席を増やし、工夫した結果、例年より大勢の檀家さまに本堂にお入りいただけました。右下の写真は餓鬼棚です。野菜、果物、素麺、ご飯、洗った米、菓子、など、食べ物を多くお供えします。餓鬼棚の隣に皆さまからご依頼のあったお塔婆が50音順にお立てしてあります。



す。法要中にすべてのお塔婆に水向けをし、塔婆施主名を読み上げます。法要中に撒かれた散華を手にされることのできなかつた皆さまのために、お土産のお菓子の熨斗内に散華を一枚ずつ挟み込ませて頂きました。

右の写真は先代住職の書いた施餓鬼会の看板です。毎年大切に使っています。

ハガキ申込みの段階で出席希望者207名、という過去最多の檀家さまをむかえての施餓鬼会でしたが、住職からの「非戦、平和を実現するためにも祈りましょう。」という言葉締めくくりとして、皆さまとともに同唱十念をとたえ、大法要は無事に終わりました。お塔婆を持ち、お墓参りをされ、なごやかにお弁当を召し上がる方、お弁当を持って帰る方、晴れ晴れとした表情の檀家の皆さまの姿が、いつにも増して印象的でした。欠席の方のお塔婆もすべて当日のうちにそれぞれの墓所にお立ていたしました。

今年は、今の日本の状況を考えあわせて、朝日新聞、東京新聞、サンデー毎日などから「憲法9条を守る」「戦争に反対する」記事や投書、論考を『通信』に挟み込ませて頂きました。私共は何々主義者ではなく、あえて言うなら非戦主義です。非戦主義の反対は何でしょうか。戦争経験者は戦争に行った人も家族も戦争は二度とごめんだ、と言います。その言葉を引き継いで行きたいと思えます。

平成25年6月1日 大黒

